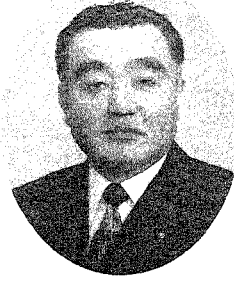


うるおいと

やすらぎのある

まちをめざして



都留市長都倉昭二

平成四年の輝かしい希望に満ちた新春をお迎えのことと存じます。市民の皆様のご支援とご厚情を賜り、昨年は市立病院に次ぐ大きなプロジェクトとして位置づけられましたふるさと会館が完成し、富士女性センターと機能を補完する中で芸術へのふれあい、地場産業振興、生涯学習の拠点として皆様に大いに利用され、名実共に文化都市として一步一步進展しております。

また、側道古川渡東桂線城山大橋の完成など、計画された懸案事業も着実に進捗しており、これも一重に市民の皆様のご理解、ご協力の賜ものと、深く感謝申し上げます。二十一世紀を間近に控え、高齢化・情報化・国際化の進展の中にあって「より住みやすく、住んでよかった」と実感できるまちづく

りを建設していくためには、市民の皆様の声なくしては成し得ません。

このことから市長就任以来、「市長と語る会」を開催し、昨年は、各地区ごとに自治会長の皆様と「二十一世紀に向けての豊かなふるさとづくりを目指して」と題し、ご意見ご提言を拜聴させていただきました。今後も広く、市民の声を市政に反映し、市民総参加の市政を推進していく所存です。

いま我が国では、高度経済成長に伴った高度都市機能の一極集中による弊害を是正するための、諸施策が展開されていますが、臨時行政改革推進審議会で地方分権を求める部会報告がなされるなど、国と地方を通じる議論が活発化しています。

こうした中、平成四年度の自治省重点施策は、国民生活の豊かさを実感できる経済社会の実現のため地方自治体の自主的・主体的な地域づくりの推進と、住民生活の質の向上を目に見る型で実現していくこととしております。

また、県におきましても山梨幸

住県構想実現のため、長期計画審議会を設置し、うるおいとゆとりが実感できる社会の確立を目指しているところです。

二十一世紀は、高度成長過程に見られた効率性優先から、物心両面にわたる豊かさが実感できる社会でなくてはならないと思います。先人達が残してくれた文化と伝統の中に、うるおいとやすらぎあるまちを目指し渾身の努力を傾注してまいります。

文化ホール建設

近年心の豊かさを求める市民の芸術・文化に寄せる期待、さらに郷土への関心の高まりに呼応するため、市民会館にかわる文化ホール建設について検討を重ねてまいりました。建設場所は、本市の特色でもある豊かな自然、特に美しい山林を生かすことを考慮に入れ、上谷字山の神の地区に決定し、平成五年に着工をすべく諸準備をすすめております。

昨年十月に文化ホールの施設内容等、基本的なあり方について審

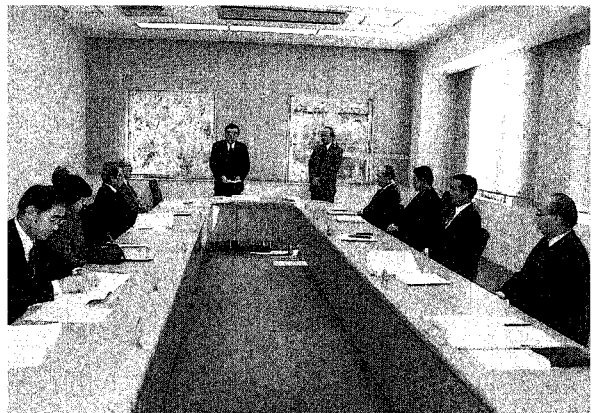
議、検討していただくため市議会議員、学識経験者、専門知識者九名からなる「都留市文化ホール(仮称)建設懇話会」を設置し、ご審議を願ひ昨年十二月検討結果の報告をいただきました。

このご提言の趣旨を尊重し、有能な若者達が定住するにふさわしい魅力あるまちを目指すとともに、文化ホールを本市の文化の核と位置づけ、今後さらに検討を加え、本市の歴史と伝統を踏まえ二十一世紀に向けて幅広く市民が活用できるように、研究を重ねていきます。

釧路市との友好都市提携

近年、地方自治体の国際交流・地域間交流は、国際化・情報化の潮流の中で非常に活発になって来ています。

本市でも、昭和五十八年米國テネシー州ヘンダーソンビル市と国際姉妹都市の提携調印を行い、これまでに公式訪問団の相互派遣など幅広い交流を行ってまいりました。また、国内交流につきましても、大名行列が縁で交流の始まった東京都板橋区との「ふるさと交流」国体が縁となり交流の始まった沖縄県西原町との「青少年ふれあい交流」なども年々活発になり幅広



▲ 都留市文化ホール(仮称)建設懇話会

い交流が展開されています。こうした中で、本市の名誉市民であります増田誠画伯の絵画が縁となり画伯の第二の故郷である北海道釧路市との友好都市提携に向け、諸準備を進めています。

釧路市は、増田画伯が渡仏する間の約十年余りの間、本格的に油絵に取り組んだ地であり、画伯にとって生涯の思い出の地でありま

す。また、両市は互いに公立大学を有しており文教都市としても共通するものがあります。

本年九月一日八朔祭の日に正式に友好都市提携の調印を行う予定です。今後、画伯の残した優れた絵画の交換展示を行い、また、それぞれの大学の情報交換などを通じ両市の友好の絆を強め、教育文化の向上に努力してまいります。